

令和4年2月28日

スタッフ各位

株式会社 徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役 鷺岡和徳

前略、今月も業務に専心いただきありがとうございます。

昨年にその生涯がNHKの大河ドラマでも放映され大きな注目を集めた実業家の渋沢栄一氏は「日本資本主義の父」と呼ばれる歴史に残る大きな人物であったことをご存知の方もいらっしゃると思います。日本で初めての銀行を作ったり、電力会社の基礎を作ったり500以上の大企業の礎を作った人物とされています。その渋沢栄一が残した名語録を一部紹介します。

「急ぐべからず」

仕事が忙しければ忙しいほど心を落ち着けて、決して急ぐべからず。これ渾身の力をそのことに傾注する道である。

「平常の誠意が力となる」

平常誠意をもって事に当たれば、いざという場合にそれが非常なる力になって自分の助けになるものである。

「その日のことはその日のうちに」

人びとその日のことは必ずその日に済ませ。後日にことの残らぬよう努めるべきである。

「勤勉精励」

何事にあたるにも全力を傾注せよ。勤勉精励は成功の要素である。

「積極的に善事をなす」

人は積極的に悪事をなさぬというだけでは物足りないのである。積極的に多くの善事を成さねば人たる価値はない。

「志すとは行うこと」

志すことは必ず行わなければならない。行わざる志は空砲である。無駄花である。

「私たちはお客様のために常に新しいことに挑戦し、食生活に新たな価値を創造しつづけます。」

すべては自分のために。

すべてはお客様のために。

すべては会社のために。

すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々